

利根町環境基本計画策定委員会議事録

会 議 名	令和 6 年度 第1回利根町環境基本計画策定委員会
日 時	令和 6 年 10 月 29日(火) 13時 20 分～14 時 52 分
場 所	利根町役場 5 階 5－A 会議室
出 席 者	○利根町環境基本計画 策定委員会委員 4 名出席 (出席者は、別紙1「利根町環境基本計画策定委員会出席者名簿」に記載) ○事務局 5 名 雑賀課長、久野補佐、渡辺係長、永田副参事、住田主査 ○コンサル3名 一般社団法人 茨城県環境管理協会 川島部長、軍司、木下
次 第	1. 開会 2. 委嘱状の交付 3. 町長あいさつ 4. 委員・事務局紹介 5. 委員長及び副委員長の選任について 6. 議題 ①「環境基本計画の概要」について ②「環境に関する意識調査(アンケート)」について ③その他 7. 閉会

内 容

【進行】久野補佐

1. 開会

資料の確認

2. 委嘱状交付

町長より委嘱状を交付

欠席者2名については事務局より渡します

3. 町長あいさつ

本日はお忙しい中、令和 6 年度第 1 回利根町環境基本計画策定委員会にご出席いただき誠にありがとうございます。また、皆様には当委員会の委員をお引き受けいただき感謝を申し上げます。当町は平坦な地形に肥沃な水田が広がり、四季折々美しい自然に囲まれております。しかし、近年地球温暖化やゲリラ豪雨など我々の身の回りの環境が大きく変化しており、生態系への影響が心配されています。このたび、委嘱させていただきました委員の皆様は環境や脱炭素などにおけるエキスパートと事務局から伺っております。委員の皆様には利根町の自然環境調査及び大気環境調査の結果を基にデータ分析や方向性などをお示しいただき、利根町環境基本計画の基礎資料としてまいりたいと考えております。環境問題に精通している皆様のお力をお借りしながら環境に配慮した地域社会の実現に努めてまいりますので忌憚のないご意見を賜りますようお願いを申し上げます。皆様方の今後のますますの御活躍を記念しまして簡単ではございますが、あいさつとさせていただきます。よろしくお願いいたします。

4. 委員・事務局紹介

委員自己紹介
事務局職員紹介
コンサル職員紹介

5. 委員長及び副委員長の選任について

会長及び副会長の選出について利根町環境基本計画策定委員会設置要綱第5条第1項に、委員長及び副委員長は委員の互選により定めることとなっています。最初に委員長に候補される方、又は推薦したい方はいらっしゃいますか。いらっしゃらないようですので、事務局案としてお示ししてもよろしいでしょうか。事務局案といたしましては、委員長に川原委員を推薦したいと思っております。皆様いかがでしょうか。

－承認の拍手－

川原氏の上承を得る。

続きまして、副委員長でございますが、同じく立候補又は推薦をしたい方はいらっしゃいますか。こちらでも事務局案としてお示ししてもよろしいでしょうか。事務局案といたしましては副委員長には染谷委員を推薦したいと思っております。皆様いかがでしょうか。

－承認の拍手－

染谷氏の上承を得る。

川原委員長あいさつ

改めまして川原でございます。ただいま、委員長に御指名いただきましたので、一言というところでございます。先ほどから町長を含め御挨拶をいただいているとおり、気候変動の方どんどん変化しておりますのでそれに対応して正に町民の皆様をしっかり守っていくという時期に来ているのかなと思っております。それを背景に今回の策定をさせていただきます。案を策定させていただきます、気候変動適応計画の方もよりよいものとしていきたいと思っておりますので、委員の皆様へのご協力の程どうぞよろしくお願いいたします。あいさつとさせていただきます。

染谷副委員長あいさつ

改めまして、よろしくお願いいたします。先ほど話をしたのでさしたる内容はありませんが、利根町環境基本計画策定、一生懸命やりますので皆様方のご協力よろしくお願いいたします。

委員長、副委員長が決定いたしましたので利根町環境基本計画策定委員会設置要綱第6条により議長を川原委員長にお願いしたいと思います。

－町長退席－

6. 議題

【議事進行 川原委員長】

利根町環境基本計画策定委員会設置要綱第6条第2項に基づきまして、半数以上の出席が必要でございます。本日の出席者は4名ですので、半数以上の出席ということですのでこの会は成立していることを報告させていただきます。要綱にはございませんけど、本会議での議事録署名印を乾委員、武藤委員にお願いできればと思っておりますのでどうぞよろしくお願いいたします。

①「環境基本計画の概要」について

事務局永田副参事より資料「利根町環境基本計画策定の基本的事項」を基に説明

【質疑応答】

- (委員長) ありがとうございます。まず、①について事務局からの説明が終わりましたが、ここで各委員の皆様からただいまのご説明に関しましてご質問がございましたらお伺いしたいと思いますのですがいかがでしょうか。もしありましたら、挙手の上ご発言いただければと思います。
- (乾委員) 気候変動のところで私の方で毎日の気温の変化、家と再エネの気温の変化について最高気温、最低気温を調べている。大きい流れはそれで分かるが、気圧配置によっては変わってしまう。年単位、月単位あるいは 11 年前からの記録を見てもバラツキがあるがどうなっているのかつかみきれない状態にいるが皆さんはどうでしょうか。
- (委員長) 乾委員の家で測定しているけれども、データがバラついているがどのように扱うかというご質問でよろしいでしょうか。
事務局かコンサルがご説明でよろしいでしょうか。
- (コンサル) 委員長が専門なので委員長がご説明をお願いします。
- (委員長) バラつくのは当然です。気象を自分で測定しているのはリアルな数字を測っているのだから当然です。あとは、トレンド 10 年とか 100 年で上がっているかどうかその間どうなっているのかが問題となっているが、測ってもらっているのは正しい値だと思いますけどそれを長期的にみてどうなっているのか。今非常に注目されている。あとは、幅がどんどん広がっているのか狭まっているのか変化はいろいろあるので、長い目でみてもらうのがこのようなデータを分析するときのポイントとなります。長い目で見てデータを整理していただければと思います。公的だと測定に関して基準があるので高さ何mのところはどういう環境で測らないといけない、正式なデータとしては気象庁が測定している値となるが、もちろん個人的に測っているのも非常に重要なデータであるので、位置付けとして少し長い目でみていただければと思います。分析のトレンドをどのように書くのかは推進員であれば、茨城県地球温暖化防止活動推進センターに問い合わせいただければトレンドがみえてくると思います。貴重なデータだと思いますので是非引き続きよろしく願いいたします。
- (染谷委員) 今のところで一つよろしいでしょうか。情報ですが、1970 年代から 2020 年代まで約 50 年間ですが、茨城県御前山のアメダスのデータを累積で解析しているが、2週間から3週間春が早くなっている。桜の開花は、皆さんの時代は小学校の入学式で満開だった記憶があると思います。今はもう春休みに入る頃に満開となってしまうので2週間ほど早いです。春先に羽化する生きている化石とも呼ばれているムカシトンボがいるが、茨城県御前山では 1970 年代はだいたい 4 月 20 日過ぎからトンボになりますが、今は 3 月 31 日とか 4 月 1 日には、トンボになっている状況で生物的にみても温暖化の影響で春が3週間近く早くなっている状況とカメムシが非常に最近多いです。これは夏の高温よりは冬の冷え込みがないので冬が暖かくなってしまったのでみんな親が冬越えをしてしまう、それで農業害虫のカメムシが非常にふえている状況がありますので、間違いなく温暖化は進んでいるのかなという事例です。
- (委員長) 今の染谷委員の話は、乾委員はしっかりデータをとっているが、その状況に応じていろいろな生物指標や花が咲く時期が変わってきているという話でした。このようなことを含めて今回の現況として整理して情報収集に尽力をあてていただいて、ここに入れられるものは利根町の状況としてしっかり入れていただければいいと思います。
乾委員このようなことでどうでしょうか。

- (乾委員) OK です。
- (コンサル) 乾委員の家では家庭菜園をやっているそうですが、環境が変化している中で野菜作りとかいろいろ植えて育てていると思いますが、そういう変化などがありますか。
- (乾委員) 場所によるものが多いと思う。去年までは、他の人の土地を借りて菜園をしていたが、今年から土地の場所を変えたら害虫のつき方が全く違う。いままでなかったしんくいむしが急にできて特にハクサイ、小松菜、カブがほとんど全滅してしまった。今までそのようなことはなかったが、イモムシがたくさんいた。今度の畑では、イモムシがほとんどいない。場所によって違うのか。
- (コンサル) 解明は染谷委員へお願いしたい。
- (染谷委員) 土地をみないと何とも言えないです。
- (コンサル) そういうものの町民の方のデータや写真とかそのような変化がありましたというのは非常に貴重な策定になってきます。今日実は農協へ卸している菜園の方といろいろ話をしたが、すごく大きなピーマンが売れている。昔だと大きく育ったものは売れなかったが、今は大きいものが売れている。大根は逆に大きくなりすぎて売れない。収穫時期は早まっている。策定する方としてはそのような町民の声をお寄せいただきたい。
- (委員長) 乾委員の方からデータや写真など、もしお持ちでしたら御提供いただければと思いますのでどうぞよろしくお願いします。
 その他先ほどの説明に関して何かございますか。
 続きまして、②環境に関する意識調査(アンケート)について事務局より説明をお願いします。
- ②「環境に関する意識調査(アンケート)について」
 事務局永田副参事より概要を説明
 コンサル木下より資料「環境意識調査 町民、事業者、小学5年生、中学2年生」について説明
 また、委員会に欠席の委員からの意見についても説明
 野田委員:特に意見なし
 鈴木委員:町民について
 問2-2 省エネ、省資源のやさしいまち → 省エネ、省資源に配慮したまち
 問4-28 気候変動への適応策の推進 【事業者向けアンケートの問4-29も同様】
 大切なキーワードの法律ですが、内容がわかりにくいので※で下に説明書きを入れたらと思いました。
 問5-17 取り組み内容
 環境にやさしい商品 → 環境に配慮した商品
 問12-1 気温上昇による熱中症の増加 → 気温の上昇による熱中症などの健康被害の増加
 小学生、中学生両方について
 「家やビル」とありますが、「家などの建物」ではどうでしょうか。
- (委員長) これから発送するアンケートについて説明いただき、かつ2名の委員からの意見も併せて御紹介いただきました。これを踏まえて、今日お越しの委員の方からご意見をいただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

(乾委員)	全般的に、例えば町民ですが、あてはまる番号に1つ○をつけてとあります。これは分かりやすいですが、私が今までアンケートを実施した経験から、1つはデータがばらついてしまう。それで、やむなく2つ選ぶことにした。そうした結果ばらつきが少なくなった。例えば、1と3、3と1とか、2と4とか2つ選ばせると大体はこれだがちょっとしたことは2番目と浮かび上がってきます。皆さんの御経験でこの辺のところがいかがでしょうか。1つか2つかだけの話ですが。1つだと迷ってしまう。1番目と2番目と差がないけど1番目にしてしまうことがある。1つよりは良いと思う。
(委員長)	乾委員より、アンケート全般で例えば町民用の2頁、問2を1つではなく2つにするとばらつきが少し少なくなるのではないかという提案がありましたが、他の委員からご意見はありますか。
(染谷委員)	町民用のアンケートだと、問によってだと思いますが、問1については満足度になるのでこれは2つ回答だと逆に迷ってしまう。問2については選ぶ内容がある程度ぼんやりとした選ぶ内容になっているので、1つだけではなく複数回答でも良いと思います。 アンケートに回答する人があまり悩まないで直感的に選択できるかたちで答えの幅を狭めたり広げたりと検討していただきたい。
(武藤委員)	そもそもこれは、この全てのアンケートですが、利根町で考えたアンケートだと思いますが、全国的なこのようなアンケートの統計と併せて比較検討できるものがあるのかどうか。そういったことであれば、多少似たような感じのアンケート内容というか答えというかひな形みたいなものがあっていいかと思います。その中でどうしても利根町独自であればそれは場合によって複数回答があってもいいと思う。 会議に欠席の方から提案がありましたが、私もその提案に賛成です。
(委員長)	まずは、先ほどの○の数については事務局で再度確認していただいてよろしいですか。そんなに多くはないと思います。染谷委員からのご意見のとおり、問1のところはもちろん答えはどれか1つになると思うのでよろしくお願いします。 そこは、事務局にお願いするということでもよろしいでしょうか。 今日、御欠席の二人の委員からの修正案についてはそのとおりということで修正いただくという感じでよろしいですか。こちらも事務局で対応をお願いします。 その他何かございますか。
(武藤委員)	事業所についてももう少し問を増やした方がよいと思います。 私も一応企業の人間ですが、少ないように思います。
(委員長)	何か案はありますか。
(武藤委員)	一番企業が貢献や率先しないといけないのかなということもあってもう少し、企業にその気にさせるようなアンケートや町にはこんなことがあるとかあれば。
(コンサル)	ただ、あまり問が多いと皆さんなかなか回答を提出しないことが多い。このくらいの問題数であれば返信してくれるだろう問題数で A4 2枚に短縮しています。先ほど、鈴木委員からの※印の補足を追加すると A4 2頁に収まらない可能性があるので、空白の多い頁になるよりは問題数を増やして1頁増やすことになる可能性もある。
(委員長)	小さく入れることは可能ですか。
(コンサル)	小さくであれば入れることは可能だと思います。
(委員長)	工夫して小さくいれていただければと思います。
(コンサル)	問題数を増やした方がよいですか、それともこのままの問題数でいいですか。

- (委員長) どうですか。コンサルの回答率の経験値だと思いますが。
- (武藤委員) 実はもう一つあって、企業の人間が全てこの内容を熟知しているかというとは実はそうではない。私もそうですが、知らないことが当然あります。例えば、生物多様性って何というのが実際あるのでここに補足を入れるのであれば、今時であればそれに関係するようなWEB 頁とかリンク先とかを紹介していただければより一層スマートフォンから検索すれば、忙しい中でもちょっとはやる気になることはあるかもしれない。飽くまでも個人的な意見です。
- (委員長) ここに書いてあるキーワードを探るためのヒントなどの参考情報を追加するのであれば、アンケートそのものに増やすと、回答率問題があるので、実施するのであれば別紙を1枚入れて、そこに参考情報がずらずとアドレスがついていれば返信するのはアンケートだけなので少し衝撃は高くないと思います。別紙の参考情報みたいにしておくといいと思います。
やり方も含めて御検討ください。
ほかございますか。
- (乾委員) 大分前に雑誌の日経コンストラクションに建設コンサルタントを中心に呼んでいるようですが、青森県の事例ですが、青森市の住宅地がとめどなく広がってしまって、そうなると今でも市の運営コストがかかり、ますますコストがかかります。スマートシティを進めようとそうじゃないと、市の財政が持たないということできいろいろとやっているようですがものすごく苦労しているみたいである。それをやらないと市の財政がこれから人口減少で持たないそれですごく苦労しているという話がありました。多分その中にはお墓の移転もあろうかと思えます。これが一番厳しい、お墓の問題になると何十年とかかってしまって皆さんそれに触れたがらない。でもそれがガンになってしまう。そのようなことも含めてこの利根町を見たときにこれからスマートシティをとにかくもうやっていないと、町の運営財政がもっと厳しくなる。だから思い切って住宅地、農村地帯を仕分けしてしまうとかをしないとまずい。これは日経コンストラクションに記載してありました。真剣な問題だと、青森市だけではなく全国的な問題だと思う。これを例えば町民用のアンケートでスマートシティなどを入れてみてはどうかと思いましたが、ただ問 4 に入れると 38 も選択肢があるので 1 つ増やすとことになる。でもこれは避けておれないことではないか。いかがでしょうか。
- (委員長) 恐らく、今の御指摘は重要なポイントかと思います。いわゆる町づくりの話だと思いますが、今回議論させていただいているのが環境基本計画という、環境にシフトしたこと、そこを軸足としていますので、町としては町づくりの課があると思います。そのあたりのすみ分けとか町はどのようにお考えでしょうか。この中で扱うべき問題なのか別の住宅系の課が扱っている都市計画の中なのか。
- (事務局) 企画財政課の方でやっていまして、こちらの方でアンケート調査などを出しているということでありますので、今回は環境に特化したものとなります。
- (委員長) 重要な御指摘だと思いますが、またべつの計画ということで動いているということでございますので、こちらにお任せできればと思いますのでよろしくお願いします。
- (乾委員) 町民用の問 7 で住宅太陽光発電、1 と2ですが、太陽光発電というのは今環境に対してどうなるのかという話が出ているようです。太陽光発電のパネル、これのリサイクルというのがなかなかうまくいかない。下手するとこれを不法投棄などされたら、火事の原因になってしまう。環境破壊になってしまう。ということでどうかと思ったのですが、これは、時代の流れなのでこれを取ってしまうとばやけてしまう可能性がある。これは皆さんの意識を聞くための問と解釈して入れたのかとふんだんですがいかがですか。

(委員長)	私個人的には、今、乾委員がおっしゃったとおりで入れていくべき、エネルギー問題として入れていくべきで、エネルギー問題として入っているということによろしいでしょうか。
(コンサル)	あくまでもこれは導入状況ですから、導入しているか否かという部分をといてますので、導入している方は「導入済み」、導入していない方は「導入予定がない」とか「導入検討中」とかの振り分けですので、それが多いいから少ないからといってその先の話に行くようなものではないです。
(委員長)	今、乾委員がおっしゃったように廃棄に関しては国の方というか世界中ですが、どうするかという問題が残っているのは事実でございます。そこにはきちんと取り組まないといけないと国も思っていますし、今、開発も含めてやっています。また、これはちょっと国際的な問題もありまして、10億のパネルがきてそれをどうするのかといろいろな話もあったりするので、いろいろな複雑な絡みがありますので、課題は課題としてしっかり認識しているところではございますので、まずは導入をしていただければという感じでここには書かれているのかなと思います。
(乾委員)	意識の問題ですね。
(コンサル)	導入しているか否か。
(乾委員)	意識調査ですね。
(委員長)	状況調査ですよ。今、してますかという。感じです。
(乾委員)	私ばかり聞いてしまって、ここには専門家がそろっているんで、これは、私の失敗例です。前、私が勤めていた会社で太陽光発電をやろうといったのですが、やめたということで、その代わりに屋根に水道を引っ張って屋根の上にスプリンクラーを取り付けた。真夏にもすごく効果があった。屋根からの、事務所が2階建てでふく射熱がすごく、冷房が効きにくいということで、スプリンクラーをかけて、それで屋根を冷やしてしまえばいいと100Lの水があれば屋根の温度がかなり冷やせる。水道代にしても、1000円や2000円くらいで一夏1か月済んでしまう。ところが、部屋の中で快適になる。そこまでは良かった。ところが、やり始めて1か月ちょっとで駄目になってしまったというのは、排水管に水あかが詰まってしまって、駄目になってしまう取り替えようと思っても水道屋に頼むと経費がかかるのでみんなで行うかというが、仕事の合間にそれをやるのが嫌だということで数年間使用していない。そのような状態です。このことについて省エネなのかさっぱりわからない。失敗例です。このようなことについて環境省で成功事例があれば載せたいとおもう。
(委員長)	私は存じ上げないです。個人的にやられるのはもちろん全然問題ないと思いますけど、ここでは広く普及している技術というのでとわれているのだと思いますので、そういうものを優先的に載せていただかないとアンケートとしてはもたないかなと思います。
(乾委員)	それではここではあえて入れる必要はないです。
(委員長)	情報があれば、事務局にこのようなものがあるけどもメール等でお寄せいただければと思います。
(コンサル)	計画としては載せられないと思いますが、個人の家がどうのこうのというよりも町がどのようにこの計画を推進していくかになりますので、そのような情報をいただいた上で例えば遮熱の効果について遮熱の塗料方法などを普及していますなど推進させる、後押しするのが策定ですから失敗とかそのようなことではない。
(乾委員)	以上です。

- (委員長) ありがとうございます。また、事例などありましたら情報としていただければ有り難いと思います。よろしくお願いします。その他に何かございませんか。
- (委員長) 先ほど、木下さんのご説明のときに、中学校2年生及び小学校5年生及びその保護者と口頭で話が合ったと思いますが。
- (コンサル) 保護者については町民用を配布します。
- (委員長) はい。その確認でした。ここまででアンケートについてご質問いただいたと思います。事務局の方でまた御検討いただければと思います。
続きまして、③その他について事務局から報告等々ございましたらよろしくお願いします。
- ③ その他
事務局永田副参事より次回の会議について、アンケート集計が終了し、自然環境調査や大気環境調査などが終了したあとに実施したいと考えている。
コンサル川島より資料「利根町環境基本計画策定の基本的事項」を基に今後の進め方を説明
- (委員長) ただいま事務局の方から、今後の予定や流れについてご報告がありましたけど、これについてご質問等ありますでしょうか。
一応来年度末で全体を終わらせるということですか。次が12月頃大気環境調査で終わってからのので次回は何となく年内もう一回ありますか。
- (コンサル) 予定として、第2回が来年度の5月、第3回は9月を予定しています。
本年度は1回だけで来年度は2回、全部で3回実施する。
その間に環境審議会が来年の1月と10月に各1回、全部で2回の予定になっている。
- (委員長) 今日の皆さんからのご意見を修正したものが今年度の審議会に上がる。
- (コンサル) そうです。第1回の審議会ではアンケートの集計結果をお伝えする予定です。
- (委員長) アンケートの修正結果は、次我々は5月にならないとわからないということですか。
- (コンサル) そうです。
- (委員長) メールで出していただくことは可能ですか。
- (コンサル) 審議会にとおった内容で皆さんへご報告できればと思います。
- (委員長) それで良いと思います。ということで1年半の流れになりますが何かございますでしょうか。
よろしいでしょうか。次は5月にお会いするということになるでしょうかと思います。
- (コンサル) もう一つ、第2回の策定委員会が来年度の春に行われた後に、町民へ啓発するフォーラムを開催する予定になります。町内のどこかの役場なのか公民館なのかを使ってフォーラムを企画しています。事務局とコンサルとで、恐らくそこには策定委員の方々も来ていただくこともあるのかなと。
- (委員長) 可能性としてですか。
- (コンサル) そうです。逆にその中で発表していただく委員の方もいるかもしれません。
- (委員長) それが5月とか6月になるのですか。
- (コンサル) 6月の環境月間になります。

(委員長) そういうことですので、心していただければと思います。その間にいろいろなアンケートの結果とかもフィードバックがありつつ、御自身の経験等で御依頼があれば発表とかいただけるのかなと思います。お時間もありますので、この辺りで締めさせていただければと思いますがよろしいでしょうか。予定しておりました、議題は以上となりますので皆様活発なご意見をいただきありがとうございました。これを持ちまして議長の役目を終わらせていただきたいと思います。ここからは事務局へお返ししたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

7. 閉会

ありがとうございました。貴重なご意見大変参考になりました。これを持ちまして、令和6年度第1回利根町環境基本計画策定委員会を閉会させていただきます。お疲れ様でございました。

別紙1 利根町環境基本計画策定委員会出席者名簿

	氏名	役職名	出欠
1	川原 博満	環境省関東地方環境事務所 地域適応推進適応官	○
2	染谷 保	茨城生物の会	○
3	鈴木 泰代	環境省環境カウンセラー	欠席
4	野田 博昭	NTT アノードエナジー 東日本事業本部 東関東支店 茨城支店	欠席
5	乾 健治	茨城県地球温暖化防止活動推進員	○
6	武藤 征時	茨城県地球温暖化防止活動推進員	○